

# TDプランジャー

< 未滅菌 >

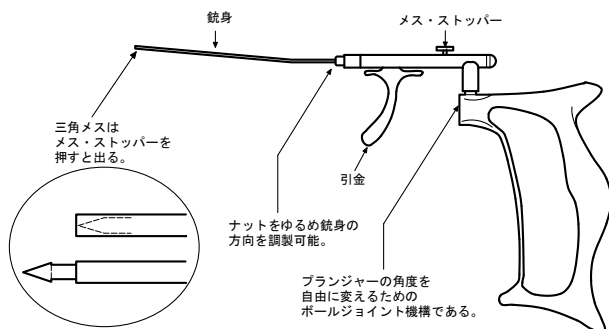
## 【禁忌・禁止】\*\*

### 【使用方法】\*\*

- ・本品を「鼓膜ドレイン (C タイプ)」の留置用以外に使用しないこと。[患部を傷つけたり、他の用具が破損したりするおそれがあり、責任範囲を超える使用となるため。]

## 【形状・構造及び原理等】\*\*

本品は、「鼓膜ドレイン (C タイプ)」専用のステンレス製挿入器である。



|      |       |
|------|-------|
| 製品番号 | #1500 |
|------|-------|

(別売品)

| 製品番号  | 製品名            |
|-------|----------------|
| #1554 | 鼓膜ドレイン (C タイプ) |

## 【使用目的又は効果】

本品は、「鼓膜ドレイン C タイプ (承認番号: 20400BZZ00025000)」専用のステンレス製挿入器である。鼓膜切開とチューブの留置を一度に行うことができ、短時間で処置できるので、特に小児を対象とした治療に適する。

## 【使用方法等】\*\*

### 【A. 使用前】\*\*

- 1) 汚れ、傷、曲がり、メス先の損傷、引金の動きなど異常がないか点検する。
- 2) 点検後、以下に従い滅菌する。

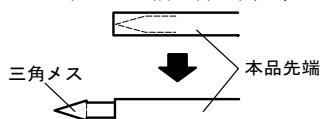
| 滅菌方法 | オートクレーブ滅菌                        |
|------|----------------------------------|
| 滅菌条件 | 温度 121℃<br>圧力 98kPa<br>時間 20 分以上 |

### 【注意】

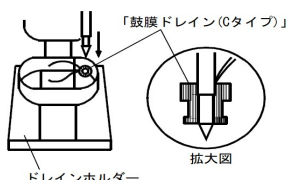
- ・180℃以下で乾燥すること。[高温の乾燥は器具が変質または変色することがあるため。]

## 【B. 鼓膜ドレイン (C タイプ) を挿入するとき】

- 1) ラベルが「鼓膜ドレイン (C タイプ)」であるか確認する。[「鼓膜ドレイン」は、他に B、D タイプがあるため。]
- 2) 本品のメス・ストッパーを前に押し出し、三角メスを出す。

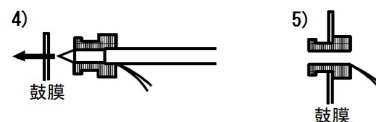


- 3) ドレインホルダーの「鼓膜ドレイン (C タイプ)」に三角メスを差し込み、三角メスに「鼓膜ドレイン (C タイプ)」を装着する。



### 【注意】

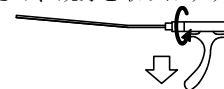
- ・本品の三角メスを「鼓膜ドレイン (C タイプ)」に差し込む場合は、「鼓膜ドレイン (C タイプ)」に傷等をつけないよう注意すること。[傷等により「鼓膜ドレイン (C タイプ)」が破断しやすくなるため。]
- 4) そのまま三角メスを外耳道に挿入し、患者の鼓膜の適切な位置に三角メスを突き刺す。
- 5) 本品の引金を引くと、三角メスは引っ込み、「鼓膜ドレイン (C タイプ)」は鼓膜に留置される。



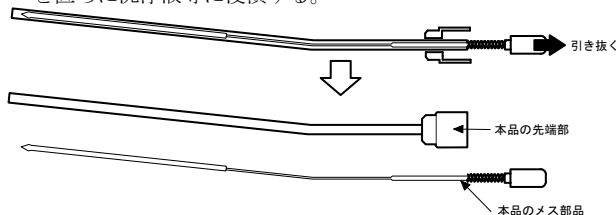
- 6) 「鼓膜ドレイン (C タイプ)」が適切に留置されたことを確認する。

## 【C. 使用後】\*\*

- 1) 本品のナットをゆるめ、銃身を取りはずす。



- 2) 銃身より三角メス部品を取りはずし、先端部及び三角メス部品を直ちに洗浄液等に浸漬する。



- 3) 精製水を用いて十分にすすぎ、直ちに乾燥する。

### 【注意】

- ① 付着している血液、体液、組織及び薬品等が乾燥しないよう、使用後は直ちに洗浄すること。
- ② 本品の銃身及び三角メス部品を分解、洗浄の際、紛失しないこと。[部品は、小さく紛失しやすいため。]
- ③ 本品の三角メス部品を折り曲げないよう注意すること。[三角メス部品は、極めて細く折れやすい素材のため。]
- ④ 次の薬剤は金属腐食を起こすおそれがあるので、できる限り使用を避けること。(次亜塩素酸ナトリウム、塩化ベンザルコニウム、ポピドンヨード、ホルマリン、フェノール、グルコン酸クロルヘキシジン) 使用中に付着したときには水洗いすること。
- ⑤ 強アルカリ/強酸性洗剤・消毒剤は、器具を腐食させるおそれがあるので使用をさけること。
- ⑥ 腐食 (錆び) の原因となるので、汚物除去及び洗浄の際、金属たわし、クレンザー (磨き粉)、金ブラシ等は使用しないこと。
- 4) 取りはずしたときと逆の手順で三角メス部品を銃身に戻す。

### 【注意】

- ① 本品の先端部に三角メス部品をぶつけないよう注意すること。[三角メスの性能が落ちるため。]
- ② 三角メス部品を折り曲げないよう注意すること。[三角メス部品は、極めて細く折れやすい素材のため。]
- ③ 本品に三角メス部品を取りつけるときには水などの潤滑性のあるものを用いること。[三角メス部品と銃身部品は内部のクリアランスが殆どないため、三角メスが引っかかって挿入しにくくなるため。]
- ④ 三角メス部品の挿脱着がきつい場合は、三角メス部品に水を塗布するか銃身の根本部分と三角メス部品の銃身挿入口に近いところを持って少しずつ挿脱着すること。[銃身の曲がりによる]

っかかって抜けにくいため。]  
5) ケースに入れて保管する。[「もらいさび」を防ぐため。]

**【使用上の注意】\*\***

- 1) 使用前に必ず洗浄・滅菌すること。([使用方法等] および [保守・点検に係る事項] 参照)
- 2) 折損、曲がり等の原因になり得るので使用時に必要以上の力(応力)を加えないこと。
- 3) 本品は鋭利なメス先及び精密な可動部分を有するため、粗雑に扱わないこと。[本品の寿命を著しく低下させるおそれがあるため。]

**【保守・点検に係る事項】**

**【洗浄・消毒・滅菌】**

- 1) 職業感染防止のために使用後はできるだけ早く防錆洗浄液、精製水を用いて器具に付着した血液、体液、組織等の汚物を除去し、洗浄・消毒すること。
- 2) 汚物除去に用いる洗剤は、洗浄方法に適したものを選択し、適正な濃度で使用する。
- 3) 薬液消毒を行う時は、薬剤の添付文書に書かれた使用上の注意を守ること。薬剤の種類によっては、金属素材に影響を及ぼすことがある。
- 4) 洗浄装置(超音波洗浄装置、ウォッシャーディスインフェクタ等)で洗浄するときには、メス先が他の機器と接触して損傷することがないように注意をすること。
- 5) 洗剤の残留がないよう十分にすすぎをすること。仕上げすすぎには、浄化水(ろ過、蒸留、脱イオン化等)を用いることを推奨する。
- 6) 洗浄後は、腐食防止のために、直ちに乾燥すること。
- 7) 使用(滅菌)前に、汚れ、傷、曲がり、メス先の損傷、引金の動きなど異常がないか点検すること。これらがある場合は使用を中止すること。
- 8) 滅菌のためのセット・包装にあたっては確実に滅菌できるよう配慮すること。
- 9) 洗浄、消毒、滅菌後の器具は水分を除去し、十分乾燥させてから保管すること。水分が付着したまま長時間放置すると、錆び、シミ等の原因となることがある。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】\*\***

**【製造販売元】\*\***

株式会社 高研  
TEL 03-3816-3500

**【製造元】**

株式会社 高研